



# みさと 議会だより

## 毎日にぎやか みさとの大家族

黒澤さんご家族（上鎗田）

〔詳細は15ページ〕

3ページ 財政の健全化すすむ

定例会概要	2
決算審査	3
一般質問	8
研修報告	13
キラリ美郷	16

15ページ 「住民と議会との懇談会」日程決まる

# 平成29年度 会計決算を認定

9月  
定例会

## 美郷中で電子黒板とタブレット端末を導入へ

9月定例会を、9月3日から13日までの11日間の会期で開きました。審議した議案は平成29年度美郷町一般会計決算認定など19議案。その全てを原案のとおり認定・可決しました。また、陳情1件は不採択としました。



決算特別委員会の様子

**今** 定例会は、平成29年度会計決算認定を中心に審議しました。決算については、決算特別委員会を設置し、慎重に審査を行いました。

**町** の財政状況を改善す指標はいずれも改善されており、財政健全化に向けた運営がされています。実質公債費比率は4・1%となり、前年より1・3ポイント改善されました。経常収支比率は83・9%となり、前年より0・7ポイント改善されました。

**一** 一般会計は、歳入11億6千275万7千円、歳出11億9千132万8千円、差引4億3621万9千円の黒字決算となりました。特別会計では、国民健康保険、下水道事業、農業集落排水事業、後期高齢者医療の全てで黒字決算となり、水道事業会計でも黒字決算となりました。

1億9千132万8千円で、差引4億3621万9千円の黒字決算となりました。特別会計では、国民健康保険、下水道事業、農業集落排水事業、後期高齢者医療の全てで黒字決算となり、水道事業会計でも黒字決算となりました。

舗装工事の追加750万円、仙南小学校体育館音響設備改修工事の追加340万円など、歳入・歳出にそれぞれ3億3552万5千円を追加し、補正後の一般会計総額を117億3834万3千円としました。

**議** 会では、9月3日に決算の説明を受け、4日に総括質疑を行った上で、7日に特別委員会を審査し、13日に採決を行いました。その結果、一般会計と国民健康保険特別会計は賛成多数で、他の3つの特別会計と水道事業会計は全員の賛成で認定しました。

**そ** のほか、人権擁護委員の推薦や大仙美郷環境事業組合の解散、財産の取得契約、地域再生法の一部改正にともなう固定資産税不均一課税に関する条例の一部改正などを可決し、閉会しました。

- ※1 実質公債費比率  
自治体の標準財政規模に対する借金の返済額を割合で表したもので、18%を超えると新規借入れする場合に国や県の許可が必要になります。
- ※2 経常収支比率  
町税・使用料などの毎年決まった収入に対して人件費・扶助費など決まった支出が占める割合のことで、高いほど財政に余裕がないことになります。

**平** 成30年度一般会計補正予算は、こどものえき整備経費の追加360万円、町道長面線ほか10路線の

### 決算 審査

## 財政の健全化すすむ

#### 決算総括質疑

森元議員 役場職員の業務に関して、不適正な事務処理の再発を防止するために、チェックを専門に行う部署を設けるなど、効き目のある対策を講じるべきではないか。

町長 事務が適切に行われているか、決裁をする者が責任を持ってチェックする。職員は適切な事務を今まで以上に心がける。現体制の組織のままで、適切なチェックはできる。

#### 決算特別委員会審査

「平成29年度一般・特別・水道事業会計決算」の審査は、議員14人で構成される「決算特別委員会」に付託しました。

9月7日、決算特別委員会が審査を行った結果、一般会計については「賛成多数」で、国民健康保険特別会計・下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・後期高齢者医療特別会計・水道事業会計については「全員賛成」で、決算を「認定」と報告すべきものとなりました。以下、決算特別委員会が出された主な質疑の内容を要約してお伝えします。

#### 一般会計

##### 歳入

では、農業所得が2億8千万で前年度比58・0%増、給与所得は2億8千万で前年度比1・80%増となっている。

泉議員 町民税の所得内訳は、**税務課長** 主なところ 小原議員 町税の税目ごとの徴収率は、

**税務課長** 町民税は滞納繰越合わせて96・51%、そのうち個人は96・34%、法人は98・18%。固定資産税は91・34%、そのうち交付金を含まない固定資産税は91・28%。軽自動車税は93・96%。たばこ税と入湯税は100%。

**小原議員** 町税の不納欠損額(420万6千円)についての理由と、その対策は、

**税務課長** 個人町民税については、転出によるものが10人。法人町民税は、倒産によるものが2件。固定資産税は、死亡によるものが58人。軽自動車税は転出によるものが14人。

#### 監査委員による審査意見(要約)

審査に付された各会計の決算書、明細書、調書は、関係法令に準拠して作成されており、正確であると認められた。また、各決算の内容と予算執行の適否も適正であると認められた。ほか、監査等における指摘事項に対しても適切に対応されており、良好と認められた。



監査委員の深澤克太郎氏(左)と深澤均氏(中)

平成28年度会計で処理するべき支払を、平成29年度会計で処

徴収にあたっては、督促状や催告書などを使い、最大限の努力をしている。

### 歳出

#### 暮らし

**鈴木(正)議員** 町が管理するカーブミラーは全部で何基あるか。修繕計画はどうか。



活力ある地域づくり事業費を活用「後三年秋の陣」

**住民生活課長** 町全体では約700基ある。毎年、雪解けの時期に見回りを行い、行政協力委員からの情報を得て修繕を進めている。

**深沢(義)議員** 活力ある地域づくり事業費補助金(137万9千円)を交付した団体と、その事業内容は。

### 産業

**企画財政課長** 23団体に交付したうち、主なものは、金沢地区で行われたイベント「後三年秋の陣」、一丈木地区の夏祭り、畑屋地区の夏祭り、その他、各行政区で行われたグラウンドゴルフ大会などに大きな変動はない。

**小原議員** 美郷暮らしサポートセンター(移住・定住相談、起業相談・空き家利活用)に201件の相談があったそうだが、成果は。

**泉議員** 児童クラブの支援員の配置基準は。今後、増員する考えはあるか。

**教育総務課長** 部屋毎に支援員2人、児童40人に対し2人を配置している。国が定めた配置基準は満たしているが、支援の必要な児童が増加傾向にあるため、適切な人員の確保に努めていきたい。

**深沢(義)議員** スポーツ少年団補助金(265万7千円)の詳細は。

**生涯学習課長** 22団体あるスポーツ少年団に、

**商工観光交流課長** 町外から転入して家を建てた10軒(38人)に、若者定住促進奨励金として465万6千円を交付した。空き家バンクに登録した71人のうち、9件が成約につながった。

**深沢(義)議員** 新規就農者研修施設負担金(96万円)について、大仙市で研修を受けていた人の状況は。

**農政課長** 1人は野菜栽培の研修を終え、現在は就農し、ねぎ栽培に取り組んでいる。

**村田議員** 大規模肉用牛団地整備事業費補助金(3395万円)の内容は。

**農政課長** 大仙・仙北・美郷地域畜産クラスター協議会が実施主体となっており、畜産農家の

### 医療福祉

**泉議員** 介護保険事業支援員賃金(172万4千円)と認知症地域支援推進員賃金(152万2千円)についてだが、彼らはどういう仕事を担っているのか。

**福祉保健課長** ケアマネージャー等の資格を持つ担当者が、地域に出むいて様々な調査を行っている。ケアプランの作成や指導・助言なども行っている。

**深沢(義)議員** 特定不妊治療費助成(31万1千円)により子どもを授かった人は何人いるか。

**福祉保健課長** 特定不妊治療では5人である。これは治療費が県支給

**泉議員** 総合健(検)診委託料(3679万円)についてだが、受診率は向上しているか。

**福祉保健課長** 健診項目にもよるが、概ね横ばいで推移している。受診率アップのため、日曜健診や追加健診をそれぞれ2回行った他、葉書によるPR、がん健診クーポン券の発行など、様々な施策を実施している。

**深沢(義)議員** 現年度分が95・20%、滞納繰越分が18・54%、全体としては81・52%である。

**村田議員** 文化財の発掘調査が続けられているが、文化的価値のある発見はあったか。

**生涯学習課長** 鑑ヶ崎城があった四天地から11世紀後半の「かわらけ」が出土している。調査は今後も計画性をもって進めていく。

**小原議員** 奨学金の収納率はどうか。

**泉議員** 職員研修事業委託料(100万3千円)について、事務ミスを防ぐための研修とは具体的にどのようなものか。

**総務課長** 専門の講師を招いて研修を行っている。ミスを生まない組織づくりや、チェックする上でのポイント

の補助額を越えた部分に対して町が行った助成であり、一般不妊治療では6人に助成している。

### 学校

**小原議員** 小学校の学校管理費の需用費について、予算額の2605万2千円に対し、509万6千円もの不用品が生じた理由は。

**教育総務課長** 光熱水費、特に水道料金の減少によるところが大きい。千畑小学校の水道料金が大きく下がった要因としては、手洗いの場の改修により漏水がなくなったからと考えられる。

**細井議員** 新聞活用教育推進事業はどのように行われているか。

**教育推進課長** 美郷中学校が、新聞活用教育の実践校に県から指定

### 教育文化

**泉議員** 児童クラブの支援員の配置基準は。今後、増員する考えはあるか。

**教育総務課長** 部屋毎に支援員2人、児童40人に対し2人を配置している。国が定めた配置基準は満たしているが、支援の必要な児童が増加傾向にあるため、適切な人員の確保に努めていきたい。

**深沢(義)議員** スポーツ少年団補助金(265万7千円)の詳細は。

**生涯学習課長** 22団体あるスポーツ少年団に、

**細井議員** 新聞活用教育推進事業はどのように行われているか。



鑑ヶ崎城跡の発掘調査

### 役場

**泉議員** 職員研修事業委託料(100万3千円)について、事務ミスを防ぐための研修とは具体的にどのようなものか。

**総務課長** 専門の講師を招いて研修を行っている。ミスを生まない組織づくりや、チェックする上でのポイント

# 9月定例会 請願・陳情

## 不採択としました

◇陳情第18号 消費税増税10%引き上げ中止を求める意見書提出の陳情書  
秋田県商工団体連合会 会長 小玉 正憲

**総務常任委員会審査**

**採択とすべき意見**

軽減税率を導入しても、消費税が上がっていくと、低所得者の負担が増えることははっきりしている。

**不採択とすべき意見**

消費税10%への引き上げは、政府の既定路線であり、財源の使い道も示されている。前回12月に不採択としているため、採択となると議会の一貫性が問われる。

**本会議での委員長報告に対する反対討論**

**泉議員** 消費税が8%に増税されてから、物価の値上げが家計を直撃している。また、個人消費や実質賃金の減少も続いている。社会保障はよくなるどころか負担が増すばかりで、消費税の引き上げは景気の悪化が一段と進むことは明らかである。インボイス制度も中小企業者には大きな負担となり問題がある。以上のことから、この陳情は採択すべきだ。

※「みさと」議会だより54号、「陳情第8号」消費税を10%に増税することを中止することを国に求める意見書採択に関する陳情」は、不採択となっています。

## 採決結果

採決で賛否が分かれた議案等を掲載しています。議長は採決には加わりません。

○：賛成 ●：反対

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	議決結果
議員名	深沢 義一	小原 正彦	鈴木 正洋	内田 清文	泉 美和子	森元 淑雄	高山 茂雄	細井 邦男	熊谷 良夫	伊藤 福章	鈴木 良勝	村田 薫	藤原 政春	深澤 均	熊谷 隆一	澁谷 俊二	
<b>認定第1号 平成29年度美郷町一般会計決算認定</b>																	
	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
<b>認定第2号 平成29年度美郷町国民健康保険特別会計決算認定</b>																	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
<b>陳情第18号 消費税増税10%引き上げ中止を求める意見書提出の陳情書</b>																	
	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	否決

## 第6回臨時会（8月6日）

8月6日、第6回臨時会を開催し、議案3件の審議を行い、全員賛成で原案を可決しました。財産取得は、町所有の中型バス、アクティセンターで利用するバキューム車です。

平成30年度美郷町一般会計補正予算は、地域活動拠点整備事業費補助金（町内会館の建て替え）、中央公園内の公衆トイレ施設改修工事費、9月1日開催の秋田県消防操法大会の出場経費です。

歳入歳出それぞれに1104万4千円を追加し、総額114億281万8千円としました。

などについて指導を受けている。

**泉議員** 人事評価研修委託料（31万5千円）について、新しい人事評価制度の導入が、職員の仕事の意欲をそぐようないか。

**総務課長** 管理職は、研修を重ねて評価スキルの向上等に努めており、不公平感のない制度の運用を心がけている。評価される側の職員も、責任を自覚して町のために頑張っているという意識が醸成されてきている。

### 国民健康保険 特別会計

**泉議員** 資格証明書はどのように発行しているか。

**福祉保健課長** 滞納世帯のうち、納税が全くなく、納税相談をすることもなく、戸別訪問しても会うこともできない世帯について、被保険者証返還等審査委員会でも検討し、証明書を交付するかどうか決めている。

### 水道事業会計

**小原議員** 料金の収納率は。

**建設課長** 90・95%で前年度比0・52%増である。

### 一般会計決算認定

**反対討論**

**泉議員** 人員適正化が職員の労働強化につながりかねないことや、職員の士気にマイナスの影響が心配される人事評価制度も実施されている上、マイナンバー制度の運営に使われた決算であるため、認定には賛成できない。



大仙美郷クリーンセンター

### 条例改正など

**内容** 大仙美郷環境事業組合の解散と財産処分、大曲仙北広域市町村圏組合の共同処理する事務及び規約の一部変更

**内容** 大仙美郷環境事業組合と仙北市が管理運営している一般廃棄物管理処理施設を、平

### 財産の取得について

成31年度4月1日より大曲仙北広域市町村圏組合に一本化することに伴う一連の改正

**内容** 教育用コンピュータ機器（一式）を2106万円で購入

**深澤（均）議員** 教育用コンピュータ機器はどのように使われるのか。また、今後の導入計画は。

**教育総務課長** 美郷中に電子黒板（10台）とタブレット端末（36台）を導入し、ICT教育に使用する。無線LANも整備し、普通教室でもコンピュータでの授業が受けられるようにする。来年度は3小学校にも導入する計画だ。

# 4議員が 6項目を質す

## 質問者

村田 薫 議員

◇町の障害者雇用状況は

内田 清文 議員

◇タイ王国との交流のこれからについて  
◇運動を継続的にできるような環境の整備について

泉 美和子 議員

◇小中学校の教室にエアコンの設置を  
◇認知症介護支援の取り組みについて

鈴木 正洋 議員

◇樽みこしと舟ッコ流しの今後のあり方について

### 一般質問とは？

一般質問は、年4回の議会定例会において行われます。議題とは関係なく、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため、通告制が採用されています。

### 傍聴のお礼

今定例会には、たくさんの方々から傍聴にきていただきました。

ありがとうございました。

9月12日の本会議において、4議員が6項目について一般質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

## 町の障害者雇用の状況は

### 町長 雇用率は達成している



村田 薫 議員

議員 中央省庁や自治体の障害者雇用者数の水増しが問題になっているが、町の障害者雇用の実態と考えを聞く。  
①法定雇用率2.5%は守られているか。  
②採用時に障害者手帳や医師の診断書を確認しているか。また、第三者機関による確認は定期的に行っているか。  
③介助が必要な障害者がいる場合、介助者は配置されているか。また、障害者が働きやすい環境の整備はされているか。  
④障害者の労働力のメリットについて、どのように捉えているか。

町長 ①雇用率は2.5%で達成している。  
②厚生労働省が作成した「プライバシーに配慮した障害者の把握・確認ガイドライン」に基づき、「障害者雇用状況の報告などのために」と利用目的を明示し同意を得たうえで障害者手帳などの提供を求めており、プライバシーに配慮しながら、把握・確認を行っている。また、ガイドラインに基づいた対応を徹底しているので、第三者機関による確認は必要ない。  
③現在、町職員に身の回りの介助が必要な者はいないので、介助

者の配置はない。障害者が働きやすい環境づくりを推進するため、町の施設についてバリアフリー化を進めてきたほか、町職員が障害を理由とする差別が発生しないよう「障害を理由とする差別の解消の推進に関する美郷町職員対応要領」を策定するなど、職場環境の整備に努めてきている。  
④障害者の就労は、労働人口の減少への対応といったものではなく、健常者と同様、自らの人生に存在感と充実感を感じることができる自己発現の機会としてとらえるべきと考える。



# タイ王国との交流は

## 町長 スポーツ、教育、経済と段階的に

**議員** ①2020東京オリンピックのホストタウンの取り組みは素晴らしいとの声がある一方で、その後はどうするかを懸念する声もある。交流の目的はスポーツ振興、観光振興、イベントのどれに重点を置いて事業を進めているか。

**町長** ①タイ王国との交流は、スポーツ、教育、経済と段階的に展開が望ましいと考えている。スポーツ交流では、タイのチームの合宿に町バトミントン協会、サポータークラブ「プーアンの会」、町更生保護女性の会など、多くの方が関わった。教育交流では、タイの教育関係者が美郷町の学校を視察し、美郷中生はタイのノンタブリー県の学校を訪問した。

交流があったからだと思う。②一人のキーパーソンに過度に依存した交流関係は、継続性に課題がある。まずはタイバトミントン協会やノンタブリー県第一地区初等教育局などの組織と交流を深めていきたい。

②美郷町が、これからもタイ王国との交流を続けていくのであれば、秋田ワールドゲームズの時の台湾のヤン先生のようなキーパーソンが必要になるのではないか。人的財産を作る考えはあるか。

**町長** ①タイ王国との交流は、スポーツ、教

育、経済という段階的交流があったからだと思う。②一人のキーパーソンに過度に依存した交流関係は、継続性に課題がある。まずはタイバトミントン協会やノンタブリー県第一地区初等教育局などの組織と交流を深めていきたい。



「美郷の梅酒」輸出用チラシ

## スポーツ施設に月会費制を

### 町長 導入は難しい、回数券の購入を

**議員** 町ではセルフケアを推進しており、運動習慣の定着を図っている。サンアールの室内プールやワクアスのトレニング室など、町内のスポーツ施設の利用料は、「1回につき」もしくは「1時間につき」という料金設定である。

**町長** 運動に関するほとんどの公共施設は、利用時間による一回当たりの料金設定をしている。利用の公平性と管理の適切性を担保するためには、時間を定めた利用料金でなければ問題が生じる可能性がある。少しお得な回数券の発行が限度と考えるので、回数券の一括購入をして頂きたい。

隣接市のフィットネス施設は月会費制が主流である。町内のスポーツ施設も、月会費制にすれば、利用料を抑えやすくなり、継続的な利用も見込まれる。年間パスポートの発行など、一度の手続きで長期間利用できる環境

# 全教室にエアコンを

## 町長 設置を検討している



いづみ みわこ 議員 泉 美和子

**町長** 町でも全教室にエアコンを設置する場合の必要経費の算出や課題の洗い出し作業に着手している。県教育委員会には、その旨を伝えるとともに、情報提供などの支援を依頼している。



現在は教室に2台の扇風機

現段階では、平成31年度に美郷中学校、平成32年度には3小学校にエアコンを設置する

**議員** 今年の夏は、記録的な猛暑となった。当町でも小中学校の普通教室にエアコンを設置すべきだ。国と県に対しては補助制度と財政支援の拡大を求めていくべきと考えるが、町長の見解を聞く。

方向で検討している。現在、整備費の3分の1を補助する国の交付金制度があるが、早急な整備を実現していくために、機会をとらえて、国、県に補助等の拡充の要望をしていきたい。

## 認知症の早期発見と早期対応を

### 町長 地域とともに取り組む

**議員** 認知症になって、本人と家族が地域でその人らしく暮らしていることが求められる環境づくりが求められている。その実現の立場から町長の見解を聞く。

**町長** ①基本チェックリストは、25の項目のうち3項目が認知機能についてであり、その部分では認知症の早期発見に繋がらないとは言えない。

①基本チェックリストのみでは認知症の早期発見に繋がらないと考えるが、町ではどのような対応をしているのか。

美郷町認知症早期発見事業「気づきの輪」や民生児童委員の定期的な訪問などを通じたネットワークも構築し、地域で早期に見つける仕組みづくりに努めている。

も増えていることから、利用者の要望に応じたきめ細やかなサービス提供が可能になっている。③今年3月、「知っ得！あんしん！保存版『認知症』」と題したパンフレットを全戸配布したほか、介護予防教室や講演会を開催している。認知症サポートも養成し、認知症に対する正しい理解の促進と啓発に努めている。

②認知症を重度化させないためには、初期の段階に適切なケアを受けることが重要だ。要支援の人への現在の介護サービスの取り組みは。

②平成29年4月から地域の実情に応じた取り組みができるようになり、町では従来のサービスに加えて、新たに訪問型サービスA、通所型サービスA、通所型サービスCを設けた。提供する施設数



うちだ きよふみ 議員 内田 清文

を整備する必要があるのではないかと。③今年3月、「知っ得！あんしん！保存版『認知症』」と題したパンフレットを全戸配布したほか、介護予防教室や講演会を開催している。認知症サポートも養成し、認知症に対する正しい理解の促進と啓発に努めている。

# 樽みこしと舟ッコ流しの今後は

## 町長 関係者と意見交換をしていく

議員 8月第1週の土日、六郷まちなかエリアでは、「樽みこし」と「舟ッコ流し」が行われる。

樽みこしは、旧六郷町商工会青年部が始めた祭り、現在は観光協会が主催している。子どもから大人まで参加できるのがこの祭りの良いところであり、日本有数の水かけ祭りに成長する可能性もある。今後増える予想される外国人観光客の受け入れにも最適だ。

舟ッコ流しは、享保年間が起源とされる祭りであり、明治維新100年の記念に復活してから今年で50年となる。現在は生涯学習課

が主催しているもの、少子化の進行によって参加町内が減るなど、存続には黄色信号が灯っている。

二つの行事が同時期に開催されるため、両方に参加する小学6年生と保護者には負担となっている。

舟ッコ流しは廃止して、これまで使われてきた舟ッコを神輿に改造し、樽みこしと一緒に子供たちが担いで歩くようにしてはどうか。

水かけ神輿で有名な東京・深川祭には、50基を超える神輿が並ぶ。美郷町も樽みこしと舟ッコ神輿を合わせれば20基を超える。水に縁のある神輿がずらりと

並ぶ様子は見ごたえがあり、小さきまざまなサイズの神輿が揃えば小学生全員から担いでもらえる。

樽みこしと舟ッコ流し、二つの夏祭りを一体的にとらえて今後のあり方について再考する時期に来ていると思うが、町長の見解を聞く。

町長 「樽みこし」は今年で31回目を迎え、観客や担ぎ手も合わせると約500名の参加があった。今後も継続していただきたいと考えている。

「舟ッコ流し」を廃止した上で、舟ッコを神輿にしてはどうかと



すずきまさひろ 鈴木正洋 議員

の提案だが、商売繁盛や子供たちの健康を祈る象徴の舟ッコと、清水に関心をもち、ありがたさを再認識する樽みこしを同様に見る事は、そもそも存在意義の違いが大きく、かなり困難な事と思う。

でも行政主導で運営することが、行事のあり方としてふさわしくないとこの見方もある。関係町内会から選出された実行委員会と町教育委員会で見解交換をしていくことが必要と考える。

夏祭りの将来像について、人が集うとともに、楽しさ、ワクワク感が存在しなければと考える。ワクワク感を醸すためにはどんな工夫や変化が必要なのか、広く意見を交換していきたい。



樽みこしと舟ッコ流し

# 成瀬ダムの大さに驚愕

きょうがく 県南3ヶ町村議会議員連絡協議会研修会 (7月25日・東成瀬村)

国土交通省・成瀬ダム工事事務所の村山英俊所長より、ダム建設の目的と事業規模などについての説明を受けました。

成瀬ダムは高さ114・5メートル(東北4位)、総貯水量7850万立方メートル



ダム本体の基礎部分に立つ

(東北9位)の大規模なダムで、平成36年の完成を目指して工事が進められています。形式は「台形CSGダム」(CSGは砂礫をセメントで固める工法)、事業費は約1530億円に上ります。

東成瀬村役場からバスで約1時間かかる工事現場に移動し、私たちがダム本体の基礎部分に立ちました。両岸のダム上部掘削部を見上げると、その規模の大きさに驚きを禁じ得ませんでした。

# 防災は住民同士の助け合いで

2市1町議会議員交流会(7月31日・大仙市)

大仙市防災危機管理監で元自衛官の郡山茂樹氏から、昨年7月の豪雨災害の概要と検証、特に避難行動時における市の対応について伺いました。

住民主体のコミュニティづくりを進めて行くことが大切であると結びました。

間一髪で人的被害が無かったのは、災害対策本部の「早め早めの避難勧告」の発令もさることながら、地域住民同士の助け合いがあったからと確信しているそうです。

住民同士の声掛けなど、自主防災組織が機能していました。これからは予算に一定の経費を計上して自主防災組織の活動を支援し、



郡山茂樹氏の講演

# ご参加ください(10月24日~26日)

## 第16回「住民と議会との懇談会」を開催します

議会に対する意見や要望をお聴きする機会として「住民と議会との懇談会」を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時	対象行政区	会場	担当班
10月24日(水) 午後7時00分~ 午後8時30分	釜蓋	釜蓋会館	1 班
	笹巻	笹巻会館	2 班
	下夕堰・菅谷地	下夕堰会館	3 班
10月25日(木) 午後7時00分~ 午後8時30分	四ツ谷・新田	新田会館	1 班
	上森沢・下森沢	下森沢会館	2 班
	谷地中(金沢)・森先	谷地中会館	3 班
10月26日(金) 午後7時00分~午後8時30分	上町・都野	湧太郎(國之誉ホール)	1 班・3 班
	遠槻	遠槻会館	2 班

1 班	2 班	3 班
細井 邦男 藤原 政春 熊谷 良夫	伊藤 福章 森元 淑雄	小原 正彦 鈴木 良勝 深沢 義一
	高山 茂雄 熊谷 隆一 鈴木 正洋	泉 美和子 深澤 均 内田 清文
		澁谷 俊二 村田 薫

# みさと議会だよりの評価は？

秋田県町村議会広報研修会(8月1日・秋田市)



講師の芳野政明氏

広報コンサルタントの芳野政明氏より、「住民に読まれ 伝わる」をテーマに議会広報の基本と編集について指導を受けました。

前半で議会広報の目的や役割、構成や写真の取り扱いなど、基本的な事柄についての話があり、後半は県内9町村の議会だよりを順に講評していただきました。

当町の「みさと議会だよりの」は「みさとの大大家族」や「キラリ美郷」などテーマ性のあふれる企画があることや構成がユニークなところが評価され、総評は良いものでした。

さらに読まれるものにするためには、見出しを引くようにしたり、写真のキャプション(説明文)を必要とする高いものにしていくなど工夫すべきとの指導を受けました。

今後はこの研修会で得た知識を生かし、さらに魅力ある「みさと議会だよりの」を目指します。

# 地方議会に何が求められているか

秋田県町村議会議員研修会(8月1日・秋田市)

初めに、東京大学法学部教授の金井利之氏より「真の地方創生実現に向けた地方議会の役割」と題した講演がありました。

第2次安倍政権の「地方創生」はどのようになり、現在どのようになっているのかについて、グローバルな視点などからの分析を話していただきました。

これからの人口減少などへの危機には20世紀的な解決策では対応できないため、地方から有効なアイデアを出す必要があるとのことでした。

次に、経済ジャーナリストの須田慎一郎氏より「どうなる!? からの政治・経済の展



「そこまで言って委員会 NP」にも出演、須田慎一郎氏

望」と題した講演がありました。

国政の報道されない水面下での動きについて、ジャーナリストの視点から話していただきました。

また、アベノミクスの現状を具体的な政策をもとに説明され、今後の世界経済

の潮流の中での日本の立場や労働環境の変化について話がありました。

どちらの講演も世界的な視点によるものであり、今後は地方議会であってもグローバルな考え方が必要なのだと感じました。

## 第11回「シリーズ みさとの大大家族」

美郷に移住して11年目の黒澤さん一家を紹介いたします。7人家族ですが、母のみどりさんは仕事で、全員揃いませんでした。

終くと未夢さんはスポーツのバトミントン、夢結さんはダンスが得意で、桜弥ちゃんにはわくわく園のひよこ組で元気いっぱい頑張っています。

理容店を経営する勇樹さんは「土日は忙しく、子供と遊んであげられないが、みんなが揃って食卓を囲む時間が楽しい」、香澄さんは「美郷の水が美味しくて、人も町も優しい、とても住みやすい町」と話してくれました。



かすみ 香澄さん  
ゆき 未夢さん(8歳)  
ゆうき 勇樹さん  
さくらや 桜弥ちゃん(8ヶ月)  
めい 夢結さん(5歳)  
しゅう 終くん(9歳)

みさと議会だよりの第56号クイズ正解と当選者

- ★クイズ
- 【問1】 観光の○法人と○団体が合併へ → 【正解】 ③ ①
  - 【問2】 国保税の資産割を○引き下げ → 【正解】 ⑦

◎クイズ当選者 抽選の結果、次の方々が当選しました。  
坂本 博明 様 藤田 なり子 様 大沢 千鶴子 様

住民と議会との懇談会お知らせ・みさとの大大家族・クイズの解答

研 修 報 告

# シリーズ キラリ美郷 vol.52



## ラベンダー美郷雪華 育ての親 北のかほりの会



後列左が代表の加藤征輝さん

ラベンダーの栽培に取り  
組む「北のかほりの会」代  
表の加藤征輝さんにお話を  
伺いました。

(取材・高山茂雄)

平成元年に旧千畑町の6  
戸の農家と草地公社でラベ  
ンダーの試験栽培を始めま  
した。平成4年には越冬に  
適した品種を見つけ、大台

### ? クイズ

問1 美郷中で○○○○○端末を導入

問2 「北のかほりの会」は発足か  
ら○○年

○の中だけお答えください

#### 応募方法

はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いて  
お送りください。正解者の中から抽選で3人の方に  
粗品を差し上げます。また、議会へのご意見なども  
お待ちしております。

#### あて先

〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10  
美郷町議会事務局 議会だより係

#### 締切日

平成30年11月15日(当日消印有効)

●次回定例会は、12月上旬を予定しています。  
傍聴をお待ちしております。

野地区内の1・2ヘクター  
ルの畑に1万5千株余りを  
植栽しました。ラベンダー  
園の管理は4戸の農家に委  
託され、「北のかほりの会」  
が設立されました。初代会  
長は故高橋孝利氏で会の命  
名者でもあります。  
平成5年には一般公開と  
なりましたが、駐車場は草  
地に白線を引いただけで、  
雨が降るとぬかるみ、トイ  
レもレンタルの仮設で大変  
苦労した思い出があります。

この会が30年もの間長く続  
いているのは、ラベンダーに  
対する熱い思いと、何よりも  
チームワークの良さだと思  
います。ラベンダー園を訪れる  
方が増えていることが、会員  
の励みになっています。気難  
しい植物ですが、もう少しラ  
ベンダーと共に過ごしてみ  
たいと思います。

会の女性たちは、冬の間ラベ  
ンダーグッズを手作りし、開  
園中の販売で好評を得てお  
ります。